

事務事業名	地域子育て支援拠点事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	子育て支援課	H29係等名	子ども家庭応援センター		H28担当課等名	子育て支援課		
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実					
目的	対象(誰・何を)	就園前乳幼児の親子 補助金支出先:地域子育て支援拠点事業者			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	①家庭での子育てが密室型から地域子育て型に転換し、子育ての孤立化や行き詰まりが防止され、②共同育児体験や講習の受講により家庭養育力が向上			3歳未満児数(各年4/1,住基+外登)	2546		
	向上させたい上位施策の成果指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	地域子育て支援拠点設置数		10	10	11	12	
	成果指標	延べ利用者数		47138	49820	50000	47584	
定性目標								
事業概要	<p>1 子育て応援プラン対象事業 「親の育児力向上」と「子育ての行き詰まり防止」対策事業。主に乳幼児を持つ親子が日常的に集う子育ての地域拠点。「孤独な子育て」を解消するとともに、育児に対する「知識・技術・自信」を身につけていただくため、次の役割を担う。</p> <p>(1) 育児についての情報交換や学びあいの常設の場の提供 (2) 「子育てはたいへんだけれど喜び」という子育て意欲をつくり出す (3) 子育てアドバイザーが育児相談や育児関連情報を提供 (4) 子育て講習会の定期的実施。</p>							
	<p>28年度事業内容</p> <p>1 地域子育て支援拠点事業 (1) 週5日型 5カ所 座光寺、わいわいひろば、ゆるり飯沼、親子であそぼ♪森っこ、おしゃべりサラダ (2) 週3~4日型 5カ所 くまさんのおうち、なかよし広場ぞうさん、ひだまりサロン、アイキッズスクエア、KanKanリトルジャイアント (3) 出張型つどいの広場 2カ所、おしゃべりポトフ、KanKanリトルスキッパー 2 子育てひろば全国連絡協議会応用型研修及び講座型研修 3 出張型つどいの広場の新設 4 指定管理者制度の導入(座光寺つどいの広場)</p> <p>名称</p> <p>1 設置数(常設型) 2 回数 3 新設箇所数 4 導入箇所数</p> <p>活動指標</p> <p>1 10カ所(出張型2カ所) 2 2回 3 1カ所 4 1カ所</p>							
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		47,670	53,164	52,536	0	(国)子ども・子育て支援交付金(1/3) 17,566千円 (県)子ども・子育て支援事業交付金(1/3) 17,356千円		
国庫支出金		15,792	17,720	17,566				
県支出金		15,792	17,720	17,356				
起債								
その他								
一般財源		16,086	17,724	17,614				
人件費計(千円)②		2,825	0	2,861	0			
正規職員所要時間		790		800				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		50,495	53,164	55,397	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>・子育ての地域拠点として常設型10カ所、出張型2カ所つどいの広場施設を設置し利用者に提供でき、子育ての学びや情報交換の場として担うことができた。また、地域支援事業として地域学生など多様な世代との交流を行い地域とのつながりや取組ができた。</p> <p>・子育てアドバイザー(子育て支援員)同士による情報交換会を月一回行い、スキルアップのための研修会を5回実施した。</p>						
改革改善の考え方	①問題点	<p>・休日開所日の拡大の要望があるため検討が必要である。</p> <p>・つどいの広場に来ることのできない親子についてどのようにアプローチしていくことがよいか検討が必要。</p>						
	②改革提案	<p>・休日開所日の拡大について、事業者と共に検討する。</p> <p>・広場に来場できない親子について、情報交換会において具体的に協議検討を行っていく。</p>						